

坂井市議会だより



題字は三国高校3年常廣あやめさんによるものです。

◆ Topics 議会BCP(業務継続計画)防災訓練を実施しました

主な内容

三国高校議会塾	2	代表質問	12~14
坂井高校議会塾	3	定例会審議結果	15
坂井市高校生議会	4~5	一般質問	16~22
当初予算概要	6~7	市議会クイズ	23
補正予算概要	7	広域連合・一部事務組合議会報告	23
予算特別委員会	8	◆Topics(議会BCP防災訓練)	24
常任委員会報告	9~11	6月定例会会期日程のお知らせ	24

3月定例会



坂井市

第56号
2020.5

新型コロナウイルスに負けない坂井市に!

坂井高校 1日議会塾

坂井高校では、2年生8コースから選抜された生徒たちが政策提案を行い、議員と意見交換を行いました。

3校での議会塾や高校生議会での意見は、議員が市に政策の提案や質問を投げかけることで市政に生かされています。

農業コース

高校生 

- ◆目指せ観光地化! 観光資源を生かして観光客を増やす!
- ◆バスの本数を増やし、高校からJR丸岡駅までの道を街灯で明るく!

食品コース

高校生 

- ◆空き家の活用で県外から誘客を!
- ◆農業体験と収穫した野菜をマルシェで販売を!

機械コース

高校生 

- ◆坂井市の魅力をSNSで世界に発信!
- ◆小さい子どもが遊べるレジャー施設を!



令和2年1月24日開催

電気コース

高校生 

- ◆坂井Jリーグチームをつくる!

自動車コース

高校生 

- ◆道の駅「丸岡城」を!
- ◆高齢者が集まりたくなる「大人の公園」整備を!

システムコース

高校生 

- ◆JR丸岡駅の整備を!
- ◆高齢者のスポーツ推進で健康寿命の延伸を!

ビジネスコース

高校生 

- ◆坂井市に住みたくなる企業フェスを!
- ◆三国駅周辺の活性化を!

生活デザインコース

高校生 

- ◆新しいコンセプトの地図・パンフレットを!
- ◆坂井市に専門学校の新設を!

三国高校 1日議会塾

市議会では「高校生1日議会塾」と題し、前号で紹介した丸岡高校と合わせ、市内3高校の生徒と意見交換会を開催しました。

三国高校では、2年生が各クラスに分かれ、事前に研究した成果を発表し、発表内容をもとに議員との意見交換を行いました。

1組

高校生 

- ◆新メニュー開発で「もみわかめ」認知度UP!
- ◆昔遊びで子どもの体力向上を!
- ◆三国の知名度を上げて観光客を呼び込もう!
- ◆空き家を活用した子どもの遊び場づくりを!
- ◆漁業に興味を持つ人を増やし、人手不足の解決を!
- ◆サイクリングで「漕いで感じる三国の風」を!

3組

高校生 

- ◆季節ごとのイベントプロジェクトで誘客を!
- ◆えちぜん鉄道の魅力向上で利用促進を!
- ◆三国祭りのにぎわいづくりを!
- ◆空き家活用プロジェクトで移住促進を!
- ◆東尋坊活性化プロジェクト!
- ◆魅力的な企業をPRして県内就職の促進を!



2組

高校生 

- ◆スタンプラリーツアーで三国の四季を楽しもう!
- ◆港町Book(まち歩きガイドマップ)を作成!
- ◆インスタ映えマップで三国をPR!
- ◆三国を若者が集える街に!
- ◆Let's think三国・高校生の視点でパンフレットを!
- ◆空き家を活用した学生の居場所づくりを!

4組

高校生 

- ◆三国旋風巻き起こせ! with ゆるキャラ!
- ◆サンセットビーチきらきらピカピカ大作戦!
- ◆サンセットビーチで「スポごみ」を!
- ◆みくに酒まんじゅうプロジェクト!
- ◆「花らっきょ」を救いたい!
- ◆三国のまち並みを楽しむ3CUN1mapを!



令和2年1月22日開催



三国高校、丸岡高校、坂井高校の2年生58名による高校生議会在市議会議場で開催され、12グループが街の活性化に向けた施策を提案しました。
その発表内容の一部を紹介いたします。

三国高校Aグループ

『漁業に興味を持つ人を増やそう～人手不足の解決に向けて～』

問題

- ◇現在の漁業は水産物の価格変動や水産資源の減少などといった問題を抱えており、特に漁業従事者の人材不足は深刻である。
- ◇福井県漁業協同組合連合会三国支所では、求人募集や外国人研修生の招致などの対策を講じているが問題解決には至っていない。

解決策

- ◇若年世代の利用者が多いInstagramを活用する。
- ◇漁業協同組合と連携し、自分たちが実際に三国漁港で体験した感想や、漁師の1日などを週に1回発信していく。
- ◇漁業への興味を尋ねるアンケートを実施し、その推移を確認していく。

効果

漁業に興味を持つ人が増加していれば、企画として成功！

坂井高校Bグループ

『高齢者が集まりたくなる大人の公園』

問題

- ◇現在の坂井市では65歳以上の高齢者は人口の27.7%を占めており、2035年には約33%になると予想されている。
- ◇子どもたちと共通の話題がない、運動をする場所がないと悩んでいる高齢者がいる可能性もある。

解決策

- ◇高齢者にとって必要な健康器具を設置する。
- ◇通常のベンチの他、高齢者が交流、休憩できる屋根付きのベンチを設置する。
- ◇利便性向上のため、多目的トイレの設置およびノンステップバスを運行する。
- ◇高齢者と若者がeスポーツで交流できるようWi-Fiスポットを設置する。
- ◇造成場所は温泉、保健施設と相互利用できる霞の郷温泉付近とする。

効果

高齢者は健康を維持し、様々な世代と交流できる！

丸岡高校Aグループ

『坂井市の発展に向けて』

問題

- ◇市内には小さい子どもが外で遊べる施設が充実していないことから外で遊ぶ機会が減り、市の魅力に気付いてもらえない。
- ◇ゆりの里公園などの施設は市内の端の方にあり、行きづらい。

解決策

- ◇キャンプ施設が充実しているたけくらべ付近にレジャー施設を造り、小さい子どもが楽しめる遊具や高齢者が森林浴をできる散歩コースなどを設置する。
- ◇ワンダーランド跡地を利用して、釣り堀やゴーカートなどを有する屋内施設を造り、季節を問わず利用できるようにする。

効果

外で遊びたいと思う子どもが増え、市の魅力に気付いてもらえる！

丸岡高校Bグループ

スバラシティ

『SUBARACITY～丸岡を復活させよう～』

問題

- ◇商店街を始めとした町の景観が殺風景であり、店に入りづらくなっている。
- ◇高校生が部活動の帰りに立ち寄りたり、長時間勉強できる場所が不足している。

解決策

- ◇地域の名産品を用いる飲食店を誘致することで県外の人に興味を持ってもらう。
- ◇清掃イベントを行い、若者に参加してもらうことで地元住民の交流を図りつつ、地域に愛着を持ってもらう。
- ◇それらの情報をSNSやマスコミを活用して若者に発信する。

効果

街の中心である丸岡バスターミナルを発展させることで地元商店街や丸岡城の活性化につながる！

三国高校Cグループ

『空き家問題』

問題

- ◇所有者の高齢化や固定資産税の関係で三国も空き家が増加しており、うまく活用もされていない。
- ◇商業施設の場所が分かりにくい。

解決策

- ◇海沿いや三国祭の開催地付近の空き家を民泊施設に改修し、観光客に向けて提供する。
- ◇改修のための資金はクラウドファンディングで募集し、施設利用券をリターンとして設定する。
- ◇清掃や予約管理等の施設管理は市役所内に「民泊運営課」を設置することで対応する。
- ◇近隣の商業施設で宿泊者限定の利用割引券を発行してもらうことで双方の利用者を増やす。
- ◇InstagramなどSNSで改修経過を投稿してPRする。

効果

三国のファンを増やすことで移住定住者が増える！商業施設の知名度が上がり、経済的にもメリットがある！

坂井高校Dグループ

『専門学校の新設』

問題

- ◇高校卒業後も地元に残ることを希望しているが、坂井市には志望する専門学校がなく、県内においても各分野1校ずつしかない。
- ◇県外の学校だと家族に負担がかかり、卒業後もそのまま県外で就職する可能性が高い。

解決策

- ◇坂井高校の専門分野を取り入れた総合的かつ地元企業とのつながりが強い専門学校とする。
- ◇JR丸岡駅・春江駅から通いやすい立地に建てることで地元の学生だけではなく、市外や県外からも人を集めることができる。
- ◇別案として、既存の施設である旧春江工業高校(現教育総合研究所)を利用するならば素早く開校できる。

効果

関係人口の増加、県外流出の減少、移住定住者の増加により、市の人口増加につなげることができる！

主な重点施策予算(★:新規、☆:拡充)

みんなで未来につなぐまちづくり

☆国際交流・多文化共生事業	49万円
☆行政改革推進事業 〔*RPA活用促進事業〕	326万円
★地方創生推進事業 〔SDGs推進事業〕	100万円
☆住民基本台帳事務事業 (窓口業務受付システム導入)	650万円

*RPA…事務作業をパソコンの中にあるソフトウェア型ロボットが代行・自動化すること

互いに思いやり支え合うまちづくり

☆認知症対策事業 〔高齢者SOSネットワーク事業等〕	428万円
☆母子保健事業 〔産後ケア事業〕	82万円
☆子ども医療費助成事業 〔10月から対象者を18歳までに拡充〕	3億3,857万円
☆多子世帯子育て支援事業 〔家庭育児応援手当を拡充〕	1億1,519万円
☆ひとり親家庭等の子育て安心プラン 〔高校生通学定期補助〕	800万円
☆保育園等管理運営事業 〔保育業務支援システム導入〕	2,068万円
☆幼児教育・保育無償化事業	3,720万円

学ぶ意欲を支えるまちづくり

☆中学校教育振興事業 〔図書購入費、ICT設備〕	3,850万円
★ワールドマスターズゲームズ運営事業	900万円
★みくに龍翔館改修整備事業	7,081万円

自然と共生できるまちづくり

☆プラスチックごみ削減事業	190万円
---------------	-------

地域資源を活かし活力に満ちたまちづくり

★6次産業化推進事業	880万円
☆有害鳥獣捕獲事業	1,170万円
★魚食普及・地産地消推進事業	180万円
☆地域商業活性化事業 〔行政ポイント等〕	406万円
☆観光ビジョン戦略事業〔DMO等〕	5,486万円

安全で快適な暮らしを支えるまちづくり

☆安全・安心まちづくり事業 〔防犯カメラ、防犯灯設置補助等〕	2,567万円
★防災システム整備事業 〔総合防災情報システム導入〕	7,100万円
☆空き家等対策事業	1,007万円

令和元年度 一般会計3月補正予算を議決!

補正額16億418万円(補正後の額 460億8,057万円)

主な事業

◆まちづくり整備基金 9億円
越前三国競艇企業団の事業収益の積み立てによる基金の増額。

◆重度障害者(児)医療費助成事業 2,700万円
高齢者の自己負担限度額等の制度改正による助成件数増加に伴う増額。

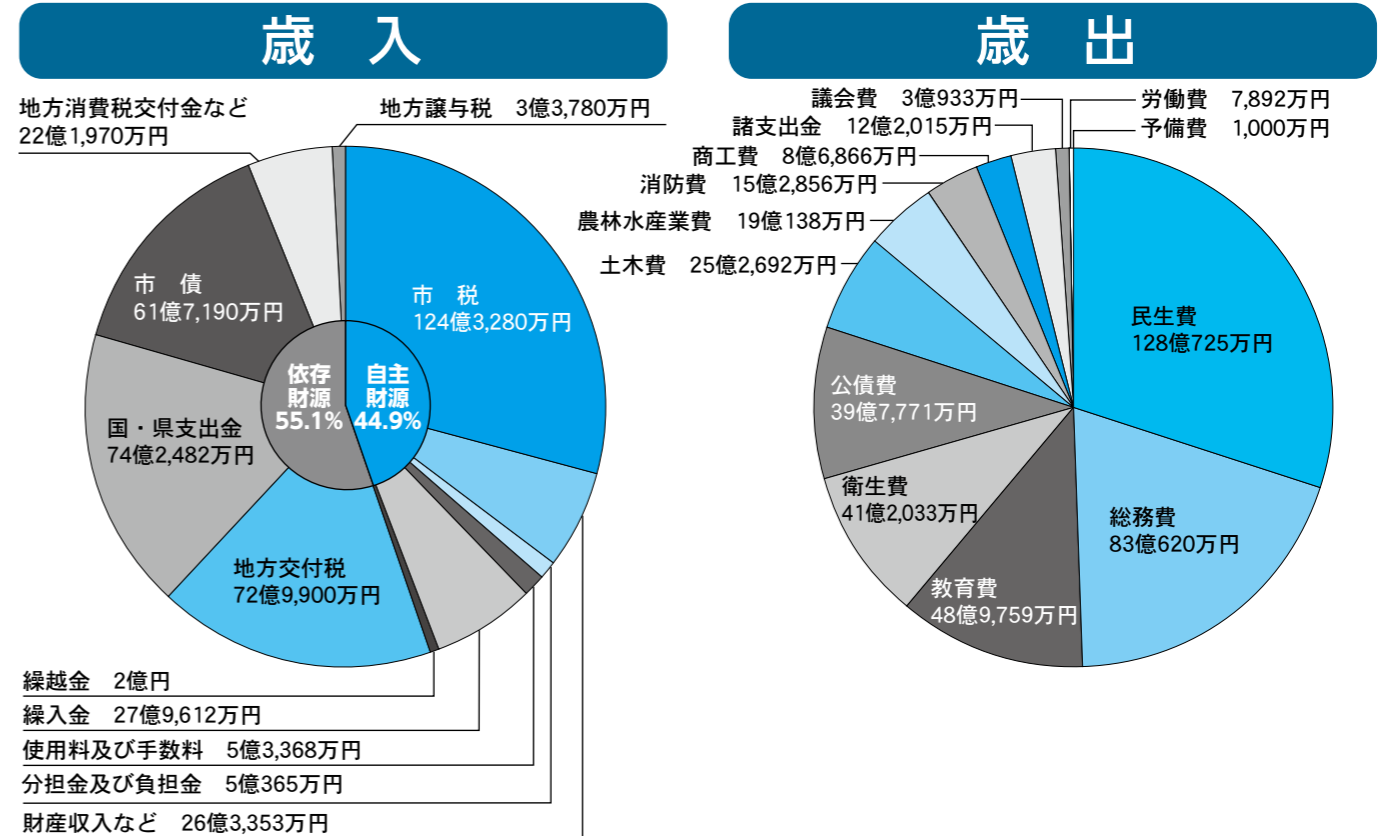
◆介護給付費給付事業 3,270万円
障害者福祉サービス(介護給付)の利用者数および支給量の増加に伴う増額。

◆小学校施設整備事業 3億2,620万円
国の令和元年度一般会計当初予算分として交付金事業の前倒し交付決定を受けたことから、令和2年度に予定していた三国北小学校の大規模改造工事(1期工事分)に係る事業費の計上に伴う増額。

◆図書振興整備基金 1,000万円
坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図るため、坂井市図書振興整備基金の設置に伴う計上。

令和2年度一般会計予算を議決!

総額425億5,300万円(前年度比 3.5%減)



用語解説(歳入)

- 自主財源・・・市税など、市が自主的に収入として得ることができる財源
- 依存財源・・・国や県などから受ける財源
- 分担金及び負担金・・・特定の事業に伴う受益者からの収入
- 使用料及び手数料・・・住民票の交付手数料や各公共施設の使用料など
- 繰入金・・・財政調整基金などから繰り入れられる財源
- 地方交付税・・・自治体間の財源格差調整のため、国から交付される財源
- 国・県支出金・・・特定の事業を行う場合に、その経費に充てるために国、県から交付される負担金や補助金など
- 市債・・・借入金
- 地方消費税交付金・・・県から交付される市町村分の地方消費税

用語解説(歳出)

- 民生費・・・福祉全般にかかる事業、各種医療扶助、保育施設などにかかる経費
- 総務費・・・職員人件費、財産管理、防災事業などにかかる経費
- 農林水産業費・・・農業や林業、水産業の振興などにかかる経費
- 教育費・・・小中学校の運営・整備、生涯学習、図書館の運営などにかかる経費
- 衛生費・・・健康増進事業、一般廃棄物収集処理、環境対策などにかかる経費
- 公債費・・・借入金に対する返済金
- 土木費・・・道路の整備、除排雪、公営住宅などにかかる経費
- 諸支出金・・・財政調整基金・減債基金・特定目的基金の積立金

【市の予算規模】

会計	予算額	前年度比較増減
一般会計	425億5,300万円	△3.5%
国民健康保険特別会計	80億1,707万円	△5.0%
後期高齢者医療特別会計	10億1,419万円	2.6%

会計	予算額	前年度比較増減
水道事業会計	25億7,278万円	△13.5%
公共下水道事業会計	54億456万円	△2.5%
農業集落排水事業会計	4,664万円	△13.4%
病院事業会計	25億896万円	△13.2%
総計	621億1,719万円	△4.4%

総務常任委員会報告

主な質疑内容

総務部

- 問** 坂井市日中友好協会は歴史ある団体である。しかし、現在、中国人よりベトナム人が増えているが、市の対応は。
- 答** 市内の在留外国人はベトナム人が518人と一番多く、今後、国際交流協会の設立に向け準備し、在留外国人の交流事業や住みやすい環境整備を進めていきたい。
- 問** RPA活用事業によって自動化する業務や人員削減との関係は。
- 答** 保育所の入所受付事務や会計年度任用職員の給料の支払事務を自動化に取り組んでいく。RPAの目的は人員削減ではなく、事務の効率化であり、自動化で削減できた時間を相談業務や現地確認といった業務に費やしたい考えである。

総合政策部

- 問** 地域おこし協力隊事業に伴う、関係人口の拡大や定住人口につながる方策の考えは。
- 答** これまで、実人数19人が隊員として活動され、現在3人が任期終了後、市内に残って生活している。今後は、任期終了後の居住や就労面のフォローを行い、定住人口につなげていきたい。
- 問** 女性農業者ネットワークの強化について市としてどのように進めていくのか。
- 答** 三国にある「くららぼん」の交流キッチンを利用した農産物を使った事業や、坂井高校の食農科学科の生徒と連携した事業など、若い世代が農業に興味を持ってもらうきっかけづくりにつなげていきたい。

財務部

- 問** 歳計外の未収債権内訳で平成30年度は6,892万円余りあるが、回収率は上がっているのか。
- 答** 平成30年度は全体で98.81%と平成29年度と比較して、0.1%上がっている。
- 問** ナンバープレート(課税標識)がついていても乗用田植機などは公道走行できないというが市の見解は。
- 答** 乗用田植機の所有者は公道走行の有無に関わらず軽自動車税の納付が必要になる。納税することでナンバープレートが交付されるが乗用田植機は自動車としての認定を受けておらず道路は走行できない。市としては道路交通法で定められているので言える立場ではない。

陳情

陳情第1号	特急「サンダーバード」「しらさぎ」を現行通り、存続させるため、県がJR西日本とJR東海と協議することを求める陳情について	不採択
-------	--	-----

<主な委員からの意見>

- 住民の声を届けるという意味でしっかり採択すべき。
- 県民が要望してきた北陸新幹線の敦賀までの延伸については、在来線は第三セクターで運行することになり特急を運行することで経営を圧迫しかねないので不採択である。



▲農業女史の活動の様子

当初予算などを審議

予算特別委員会

～2月26日・27日・28日、3月9日 開催～



主な質疑と答弁

問 【防災システム整備事業】

総合防災情報システムの概要は。

答

迅速な情報を防災アプリや防災無線でリアルタイムで防災情報を一斉配信するシステムである。

問 【地域交通対策事業】

地域公共交通網形成計画策定にあたり、モネ・テクノロジーズ(株)の具体的活用は。

答

2月1日に覚書を締結したモネ・テクノロジーズ(株)の最新の知見を反映して、効果的で最適なコミュニティバスの運行体系などを構築する。

問 【企業立地促進事業】

企業誘致の今後の方針は。

答

テクノポート福井では、福井県が約30ヘクタールの整備を進めており、8月には分譲可能となることから企業誘致を推進していく。

問 【小学校教育振興事業】 【中学校教育振興事業】

小・中学校のICT整備計画は。

答

小・中学校に校内ネットワークの高速化とWi-Fiの環境整備をする。また、令和4年度までに1人1台のタブレット型パソコン約7,700台の整備を計画している。

問 【母子保健事業】

産後ケア事業の具体的な内容は。

答

母子の健康状態のチェックや育児相談、育児支援を実施するとともに、産後の身体的な回復と心理的な安定を促進し、安心して育児ができるよう支援していく。

問 【都市計画事務事業】

都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画策定の基本方針は。

答

希望につながる多核ネットワーク都市を基本にコンパクトで持続可能な都市づくりを目指すため、居住誘導区域や都市機能誘導区域の設定を行う。

問 【6次産業化推進事業】

農業者自身が6次産業に取り組める体制づくりを進めるべきでは。

答

坂井高校にフリーズドライの機器を導入することにより、6次産業化に取り組む農業者と高校生が連携し、新商品の開発や新たなビジネスにつながるような体制づくりを行っていく。

産業建設常任委員会報告

主な質疑内容

産業環境部

- 問 有害鳥獣対策としてレーザーポインターを地区へ貸し出す事業とは。
- 答 これまで市の職員が出向いてレーザーポインターで追い払っていたが、今後はカラスの多い地区に貸し出して、カラス駆除の協力をお願いするものである。
- 問 県は「福井県産のそば」を日本一とPRしているが、「丸岡産のそば」も連携してPRしては。
- 答 一筆啓上茶屋の移転計画もあり、そば道場の整備や高校生など若い人への支援も含め、県や生産者と協力し、坂井市のブランド品として、丸岡そばのPRや普及を図っていききたい。
- 問 カニの食べ方を中学校で習う授業が無くなるが、カニ祭りでカニ一杯と交換できる引換券など、市独自の新しい施策は考えられないか。
- 答 カニだけでなく、甘エビなど水産業全体の振興を図る意味で考えることはできる。
- 問 令和2年4月から坂井・あわらエリアで運行される周遊タクシーとは。
- 答 両市の観光地を結んだり、歴史文化の地を巡ったりするタクシープランで、あわら湯のまち駅と芦原温泉駅を起点とする、120分～210分間の6つのコースを現在協議しているところである。
- 問 市の農地中間管理事業の現状は。
- 答 貸付面積は約746ha、農地全体に対する活用率は11.2%である。
市全体の担い手による集積率は約70%となっており、農地の流動化が進んでいる。

建設部

- 問 春江町安沢地区は浸水地域に指定されているが、磯部川排水路ポンプの増設はできないのか。
- 答 毎年、国や県に要望を行っているが、現時点で増設の計画はないと聞いており、引き続き国や県に強く要望し、連携していききたい。
- 問 市が進める都市計画マスタープランと立地適正化計画の考え方は。
- 答 マスタープランは、旧町単位にある4つの拠点をいろいろな交通形態でネットワークを結んで、住みよい街をつくるという考え方である。その中の立地適正化計画は、高齢化社会に対応する持続可能な街として、20年先を目指した長期的な視点に立って計画していくもので、令和2年度と令和3年度で作成する。
- 問 空き家対策は建設部だけでなく、総合政策部の力がないと、前に進まないのでは。
- 答 移住定住など利活用となれば、企画部門や福祉部門などとの部局連携は十分必要だと思う。また、インパウンドの宿泊や※サテライトオフィスなど、田舎にショートステイできるような考え方も、空き家の利活用には必要である。



▲坂井・あわら周遊タクシーで訪れることができる、明智光秀ゆかりの福井県の史跡「称念寺」

*サテライトオフィス…企業の本社・本拠地から離れた場所に設置する小規模なオフィス

教育民生常任委員会報告

主な質疑内容

市民福祉部

- 問 「坂井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」、この条例改正の理由は何なのか。
- 答 現在は、基準が緩和された内容について該当する事業所はないが、国の省令改正に合わせ、市の条例も改正したものである。
- 問 がん検診事業の血液中アミノ酸濃度測定検査の申請件数が少ないが、周知されていないのではないか。
- 答 平成27年度の導入時期から比較すると年々減少しているが、令和2年度に向けてさらなる周知を徹底していききたい。
- 問 県で統一した国民健康保険料の市の見直しについて、市の考えは。
- 答 国は、標準保険料の統一を求めている、市としては、県や他の市と協議しながら国民健康保険料を決めていきたいと考える。

教育委員会

- 問 みくに龍翔館改修整備事業について、市内教育機関や観光施設との連携をどのように考えていくのか。
- 答 市内教育機関との連携は、龍翔館の豊富な資料を活用した地域の歴史や文化を知る手助けになるような取り組みを行い、観光施設との連携は北陸新幹線の敦賀延伸に合わせ、集客力を上げていきたい。
- 問 校内通信ネットワーク環境整備事業の国の補助金の状況はどのようになっているのか。
- 答 本市の補助対象事業費の内示額は国に要望し

た額の約53%となる予定であり、今後、国の対象事業費を基本としながらICTの環境整備を進めていきたい。

- 問 新三国学校給食センターの準備状況は順調に進んでいるのか。
- 答 新社員として経験の浅い人もいるが、準備は順調に進んでいる。

三国病院

- 問 未収金の不能欠損になる状況や、回収可能なものはどのくらいなのか。
- 答 未収金については約2億5千万円となるが、実際の滞納は2千万円を切っていて、令和元年度においても多額の不能欠損とはならない見込みである。
- 問 三国病院の、外国人拠点病院としての在り方はどのようになっているのか。
- 答 外国人の拠点病院は病院関係者が6カ国語に対応できなければならないが、スタッフが6カ国語に対応できないため受け入れができない。



▲採血でガンリスクを評価する、血液中アミノ酸濃度測定検査の様子

志政会

会長代行 橋本 充雄



市長の政治姿勢は

問 第二次坂井市総合計画では今後坂井市をどのようなまちに導いていくのか。

答 市を担う人を育てる視点、住みよさを高める視点、多様性を生かし発展する視点を持ち、将来を見据え誰もが個性を発揮できる未来志向のまちづくりとしたい。

新型コロナウイルスの対策は

問 感染長期化による小中企業や観光業への影響と見通しは。

答 企業への長期化影響は生産に大きな打撃を与え、観光業は予約キャンセルが著しく被害は大きい。

政和会

会長 東野 栄治



みんなで未来につなぐまちづくりを

問 ICTやAIを活用した働き方改革を積極的に進めるべきではないか。

答 坂井市ICT活用推進計画の中で、経費削減、職員の事務負担の軽減などの業務の効率化を図る。

互いに思いやり支え合いますづくりを

問 通いの場は、高齢者福祉と生涯学習の一体化事業に取り組む必要があるのではないかと。

答 通いの場事業の中で、高齢者の居場所づくりと社会参加の推進を

情報収集とともに、国や県の動向に注視する。

自然と共生できるまちづくりを

問 九頭竜川河口のゴミ問題は上流自治体との連携が不可欠であるがどうか。

答 県では、県下一斉に環境美化活動を行う「クリーンアップふくい大作戦」を推進しており、河川沿岸の自治体がそれぞれの地域の河川敷や海岸での清掃活動を実施しているため、今後もこのような活動を通して上流自治体との連携を図っていききたい。

地域資源を生かし活気に満ちたまちづくりを

問 県ではスマート農機運用のため、全県カバリのGPS基地局を整備する。坂井市はどう取り組むのか。

答 県や関係機関と技術の研修会などをを行い、現場実装に向け普及を後押しし、県整備の導入費支援を行い、農業者の所得向上とコスト

図っていききたい。

問 地域福祉について、ひとり暮らしの高齢者を支える相談体制をどう構築していくのか。

答 民生児童委員や福祉委員による見守りや相談を進めるとともに、相談機関などの専門職の支援、相談支援包括化推進委員の調整により、相談支援機関、行政機関の協働による相談・支援を進めていきたい。

学び意欲を支えるまちづくりを

問 生涯学習の場としてのコミュニティセンターの機能は十分に果たしているのか。

答 コミュニティセンターで学習した子どもたちが、大人になってまちづくり活動やボランティアとして地域で活躍してくれることが理想的なサイクルである。

問 子どもたちの読書力の低下を防ぐための読書普及活動をどのように進めるのか。

答 子ども読書活動推進計画に基づき、「おはなし会」「ブックスタート事業」「子ども読書活動推進事業講演会」など、読書活動の啓発や広報に努め、読書環境整備を推

削減を図っていききたい。

問 三国港市場や加工場・販売拠点の一体的な整備を。

答 市場の再生内容が具体化した後、水産業および観光関係者とも連携をとりながら加工や販売が観光に結びつく一体的な整備を目指す。

北陸新幹線敦賀延伸開業に向けた観光の振興を

問 東尋坊再整備計画はどのような整備を目指しているのか。

答 環境共生を基本理念とし、世界に誇るべき散策路や誘客施設などのハード整備、アクティビティの造成といったソフト事業計画を盛り込む。

問 滞在時間増や、斬新な崖の見せ方による文化財の活用など、多角的な視点で取り組む。

問 市内観光地への誘導策として、周遊バスの必要性は。

答 令和2年4月から芦原温泉駅発着の新たな二次交通手段として、坂井・あわらエリアに周遊タクシーを運行する予定である。

進んでいきたい。

自然と共生できるまちづくりを

問 ごみ収集の効率化を進めるため、どのように分別区分を見直すのか。また、高齢者の廃棄物収集対策をどうするのか。

答 現在、資源ごみの回収方法が4地区で異なっているため、地域の実情を踏まえ、効率的な収集を図るとともに、高齢者などの排出困難者の対応についても、検討を重ねる。

地域資源を活かし活力を創造するまちづくりを

問 九頭竜川パイプラインの清涼な水をブランド化し、農産物を中心にフードパレー構想を目指してはどうか。

答 坂井地区農業振興協議会において、栽培される農産物を「くずりゅう千年耕園」のブランドネームで高付加価値を図っていききたい。特に、米を中心としたパイプラインのブランド化構想による農業振興を戦略として考えている。

安全で快適な暮らしを支えるまちづくりを

問 福井港丸岡インター連絡道路の福島〜西長田までの早急な事業認可に向け、国へ要望を求めると。

答 福島〜西長田区間を含めた早期整備が重要であると考え、早い段階で県と協議を行い、国にも要望していく。

問 高齢者、交通弱者の移動支援は。

答 市はトヨタとソフトバンク連携設立のモネ・テクノロジーズ(株)と覚書を締結した。交通システムの最先端の知見を地域公共交通網形成計画に反映していきたい。



▲早期整備が望まれる福井港丸岡インター連絡道路

安全で快適な暮らしを支えるまちづくり

問 安全な交通環境づくりのために、都市計画と交通環境整備の連携はとれているのか。

答 基本計画の審査や事前協議の際、段階別に安全対策課、建設課、公安委員会の意見を聞いて、連携を図っている。

問 周辺市町と連結していない市道がある。これらの道路網の整備をどのように進めていくのか。

答 令和元年4月に福井市が中核市に移行したことにより、周辺市町を始め、嶺北地域の広域的な道路網の整備について検討することになる。



▲資源ごみ回収の様子

定例会審議結果

★3月定例会に提出された議案と議決結果

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 ……議長のため原則採決に参加できない

議案番号	件名	議長	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
議案第1号	文化の森・YURI文化情報交流館吊天井耐震改修工事(建築)請負契約の締結について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	文化の森・YURI文化情報交流館吊天井耐震改修工事(機械)請負契約の締結について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和元年度坂井市一般会計補正予算(第5号)	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和元年度坂井市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和元年度坂井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和2年度坂井市一般会計予算	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和2年度坂井市国民健康保険特別会計予算	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和2年度坂井市後期高齢者医療特別会計予算	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和2年度坂井市水道事業会計予算	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和2年度坂井市公共下水道事業会計予算	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和2年度坂井市農業集落排水事業会計予算	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和2年度坂井市病院事業会計予算	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	市道路線の廃止について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	市道路線の認定について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	第二次坂井市総合計画の策定について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	坂井市中期財政計画の策定について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	坂井市丸岡バスターミナル交流センター条例の制定について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	坂井市図書振興整備基金条例の制定について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	坂井市子ども・子育て会議条例の制定について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	坂井市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	坂井市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	坂井市営駐車場条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	坂井市債権管理条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	坂井市国民健康保険基金条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	坂井市印章の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	坂井市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	坂井市防犯隊条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	坂井市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	坂井市立保育園条例及び坂井市立幼稚園条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	坂井市児童館条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	坂井市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	坂井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	坂井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	坂井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	坂井市立認定こども園条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	坂井市坂井地域交流センター条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	坂井市企業立地促進条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	坂井市営住宅条例及び坂井市営特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	坂井市立学校給食センター条例の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	坂井市水道事業、公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和元年度坂井市一般会計補正予算(第6号)	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第1号	教育委員会委員の任命について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	山田秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	特急「サンダーバード」「しらさぎ」を現行通り、存続させるため、県がJR西日本とJR東海と協議をすることを求める陳情	山田秀樹	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

政友会



幹事長 辻 人志

テレワークの推進を

問 働き方改革の一環として、またパンデミックや豪雪などの非常時の対策として、市職員を対象とした自宅利用型テレワークについて調査研究を。

答 働き方改革としての効果が期待されている他、感染症対策として、国から積極的な活用が示されている。

問 市の業務の中でどのような部分が適しているか検討し、また情報セキュリティ対策や個人情報保護の問題などを考慮しながら、今後の事例を参考に調査研究をしていきたい。

答 優秀な人材の確保や、人口減少対策にもつながるサテライトオフィスの誘致・開設を検討すべき。

除雪機械の増強について問う

問 平成30年豪雪を受け、本市においても除雪機械(車両)を増強しているが、その内訳は。

答 平成30年度に除雪トラック1台を、令和元年度は老朽化に伴う除雪ドーザーの更新を行っている他、リース車を2台増やして174台で対応している。



▲坂井市に新しく導入した除雪ドーザー

日本共産党議員団



幹事長 畑野 麻美子

ジェンダー平等社会の実現を

問 行政の課題と第二次坂井市総合計画に位置付けるべき。

答 LGBTや性的マイノリティを後押しする施策と、ジェンダー平等社会実現に取り組む。

会計年度任用職員制度の課題は

問 今後の課題と対価の見直しを。

答 臨時職員組合と調整を図りながら、協議し検討していく。

公立・公的病院の再編統合問題は

問 厚労省から再編統合の必要性のある病院として三國病院が名指されたが、維持すべき。

答 地域医療を支える限り、存在意義がある。

医療費無料対象者の窓口無料化を

問 子ども医療費窓口無料のように、医療費無料の人でも窓口無料に。

答 坂井市単独では難しい。

地域公共交通対策は

問 コミュニティバスの見直しとデマンドタクシーの導入を。

答 ルートの見直しとデマンド交通の導入を検討する。

認知症の人が暮らしやすい町に

問 認知症への理解の取り組みは。

答 認知症カフェの充実を図る。

河川における防災対策は

問 河川改修の早期完了を。

答 国、県に対し、強く要望する。



▲高校生が作成した啓発ポスター

坂井市の災害・感染症などを
含めた危機管理体制は

問 災害時における災害ごみへの対応はどのようになっていくのか。

答 廃棄物処理計画などに従い、計画的な収集と運搬を行い、円滑かつ迅速な処理を図っていく。

問 災害時に避難所に指定されている市内小中学校の防災機能は。

答 市内全ての小中学校は指定避難所であり、防災備蓄倉庫を設置しさまざまなものを備蓄しており、発電機なども整備している。

問 自然災害発生時に住民の避難費用を補償する住民避難保険に加入しているのか。

答 現在では加入を見合わせているが、今後の自然災害の増加が予想されることから、保険内容などについては確認をしていきたい。

問 本市の「道の駅」の防災機能はどのようにしているのか。

答 「いねす」の部分を避難所として位置づけを行い、避難者の受け入れができる体制となっている。

問 災害時に欠かすことのできない「地域防災計画」は何年ごとに見直しをかけているのか。

答 地域防災計画は平成19年3月に作成し、平成27年と平成30年に見直しをしている。

問 自然災害や、今回の新型コロナウイルスを含めた災害・感染症対策としての危機管理体制として、市ではどのように取り組んでいるのか。

答 自然災害は坂井市地域防災計画に基づき、また感染症については、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく坂井市新型インフルエンザ等対策行動計画によって危機管理体制をとっている。



渡辺 竜彦



▲避難所として位置付けられる「いねす」

三里浜の砂丘地農業振興策の
充実を

問 ラッキョウの作付面積に対しての助成金、またラッキョウの製品・作物に対する補助金を出せないか。

答 本市として生産性向上の実現に向けた6次産業商品など、地域の特産品を生かした加工品開発に取り組める体制づくりを進めており、今後とも事業の目的や将来性を踏まえ、必要な支援策については、県や三里浜特産関係、関係機関などと協議していきたくと考えている。

問 三里浜砂丘地の遊休地対策として、オリーブの栽培産地化を考えるとみてはどうか。

答 本市の砂丘地の砂は比較的細かい粘土質であることから、三年子ラッキョウの栽培に適しており、条件のいい農地とされ、ラッキョウ生産に加え、新規就農や砂地を生かした園芸振興、あるいはハウスと露地園芸の輪作などの生産振興を進めていきたい。

三國の水産業の振興策は

問 フィッシャーマンズワーフ構想と魚市場の老朽化による改築、建て替えは。

答 魚市場の建て替えは、水産振興計画に示しており、フィッシャーマンズワーフ構想については、坂井・あわら周遊滞在型観光推進計画に盛り込んである。

本市としても、市場再生により生産基盤を揺るぎないものとし、水産業および観光関係者が一体となって、加工・販売施設を加えた構想の実現に向けて鋭意努力をしていく。



広瀬 潤一



▲ラッキョウ畑の作業の様子

子どもセンターを作っては

問 妊娠前から義務教育間までの子どもに関する相談を気軽に身近な所で相談できるように、市内4地区に子どもセンターを作っては。

答 子育て支援に関する相談窓口は、子育て支援センターや子育て世代包括支援センターがあり、今後は子ども家庭総合支援拠点も設置予定をしている。

新庁舎では、このセンター機能をワンフロア化して、これまでに以上に充実させたい。

問 本市でも核家族化が進んでおり、子育ての相談や支援が身近な所で行えることが重要では。

答 新年度において、子育て支援アプリをつくり、子育て支援に関する情報発信をしたい。

企業版ふるさと納税を活用して
アリーナ建設を検討しては

問 令和2年の税制改正で、税額控除割合の引き上げや、手続きの簡素化など大幅な見直しがされた。企業版ふるさと納税を活用して

スポーツイベントや音楽イベント、ビジネスイベントなどに使えるアリーナの建設を考えては。

答 アリーナ建設は巨額な費用を要する。

小学校の大規模改修工事を優先する必要から現時点では難しい。

問 アリーナ建設には、併用可能な国の補助金、交付金の範囲も拡大され、国土交通省、文部科学省、スポーツ庁や他の省庁、日本サッカー協会の補助もあり、これらも活用して検討すべきでは。

答 大型の公共施設を整備するにあたって、現実を見据えると簡単にはいかない認識している。



川畑 孝治



▲子育て支援をしている施設

スマートシティの実現に向けて

問 坂井市ICT活用推進計画は各所管課多岐にわたっての計画だが、所管課の連携はスムーズに行われているのか。

答 本計画は、令和2年度から令和6年度までの5年間の本市におけるICTの推進に関する基本的な方針や具体的な施策などについて定める計画である。

事業の実施にあたっては、情報化を推進する管理部門と事業実施部門の連携・協力が必要であり、各部署の代表者で構成される坂井市情報化推進委員会を中心に連携を図りながら推進していく。

問 本市としてスマートシティの実現についてはどのように考えているのか。

答 IOT、ロボット、AIなどの先進的技術を積極的に活用することが必要であり、スマートシティの取り組みについて研究を進めていく。

問 どのような分野に注目しているのか。

答 公共交通、教育および農業の分

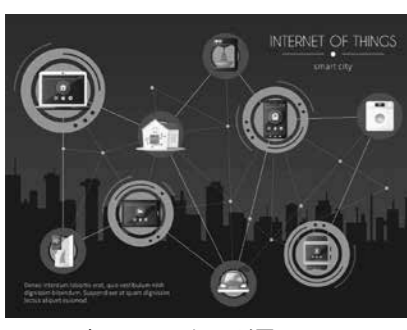
野に注目している。

問 急激な技術進歩を活用することで市民の暮らしが変わってくる。本市としてはどのように取り組んでいくのか。

答 経済発展と地域課題の解決を図り、全ての市民がデジタル化の恩恵を受け、「人と人のつながり」、本市の「住みよさ」をさらに高めることができる社会の実現を目指すことを目的に、先進的技術を積極的に活用していきたくと考えている。



後藤 寿和



▲スマートシティのイメージ図

「健康と幸福」政策の方向性は

問 若年者を対象とした、民間先進健康増進プログラムの施策やスマホドック(簡易血液検査)の施策は。

答 民間事業所も含めた先駆的な取り組みについて研究しながら推進する。

問 病院などで、プチ臨床検査マイチェック(自身の選択で血液・尿などの臨床検査)の施策は。

答 健康への関心を高める効果は期待できるが、一般的な生活習慣病予防のために各種健康診査への受診勧奨を実施していく。

問 糖尿病の早期発見のため、薬局でヘモグロビンA1c検査施策は。

答 今後、薬剤師会などと情報交換しながら進めていく。

三国病院の今後は

問 三国病院は統合・再編が必要と公表され、地域住民から不安の声がある。

市長として、市民へ説明する意義があると思われるが、見解は。



上坂 健司

答 厚生労働省からの報道などについては、非常に遺憾である。

これからも、地域の医療を果たす公立病院として、精一杯に取り組んでいくことが大事である。

問 三国病院を「面」で支える医療体制を考え、外来診療を目的としたサテライト診療所の開設は。

答 利用者は圧倒的に三国町の人が多く、丸岡、春江、坂井は数値的に少ないため、サテライト診療所の考え方は否定はしない。

しかし、地域の関係機関、医師会などに意見を聞かなければならず、ハードルは高い。



▲発刊された三国病院広報紙

三国駅前を明るく

問 夜の駅前を少しでも明るくするため、屋台村を設置してはどうか。

答 屋台村の設置については、地元との調整を含め、具現化するには期間と協議が必要。

問 スペースがあれば足湯を設置してはどうか。

答 足湯に関しては泉源の確保、メンテナンスや運営などにより、現状では難しいものと認識している。

問 三国駅舎に北前船のイルミネーションを設置してはどうか。

答 えちぜん鉄道、地元から意見を聞いて、検討していきたい。

問 モネ・テクノロジー(株)との提携で、無人のタクシー運営は可能か。

答 無人タクシーの運行サービス実現化までは相当の時間を要する。

問 外国人観光客向けの避難情報案内板、携帯アプリを作成してはどうか。

答 避難情報を視認できる看板で的確に誘導することは、極めて重要なことであると認識している。多言語観光案内標識にて避難情報に関する案内も対応していく。



▲三国駅舎



近藤 哲行

住みます芸人の活用は

問 住みます芸人を取り入れた意図は。

答 住みます芸人を活用した観光ガイドやお笑いライブを実施することで地域を盛り上げる。「笑顔」をキーワードにさまざまな施策を展開している。

地域医療機関としての三国病院の役割は

問 60日と期限がたった地域包括ケア病床患者の復帰場所はどのようになっているのか。

答 自宅への復帰が76.5%、居宅系介護施設への復帰が6.0%となっている。

問 2025年問題、2040年問題が迫る中、医療と介護の連携は不可欠と考えるが、今後どのように明確化していくのか。

答 高齢化が進む中、将来の方向性を考える上では、転換型老健、転換型介護医療院など介護の分野に目を向けていくことが必要であると考え、今後十分検討していく。

問 院内地域連携室は、今後さらに重要になると考えるが、現スタッフ数の状況、活動内容はどのようになっているのか。

答 地域包括ケア病床に対応するため、3名体制から6名体制に増員した。入院患者受け入れ活動や、在宅復帰へのプログラム、介護施設な



戸板 進

どの受け入れ先の確保など、前方支援、後方支援を行っている。現在も民間会社のサポート委託により、職員の資質向上強化を図っている。

問 市内開業医とどのような連携を取っているのか。

答 患者紹介による連携が中心であるが、CTの共同利用連携、あるいは定期的に営業訪問を行い、新たな情報を知らせる活動も行っている。また、医師会が行っている安心ネットワーク事業とも協定している。



▲地域医療機関としての三国病院

誰からも愛される三国駅前に

問 駅周辺の案内サインが少なく、案内板も見づらい。

答 駅利用者への利便性向上や、直感的に伝わる災害時避難誘導サインが必要では。

問 駅前広場完成に併せ利用者の導線ニーズに照らし設置を進める。

答 外国人や車椅子など誰もが利用可能なユニバーサルデザイン、表記方法統一も検討する。

問 観光客の回遊性向上策とUDCS(アーバンデザインセンター坂井)との連携は。

答 UDCSに委託し、旧三国市街エリアのまち歩きを楽しめるサイン整備事業を行っている。広場整備と連携させ、主要観光スポットへの誘導や回遊性向上につなげたい。

問 駅や駅周辺が誰からも愛され持続的に利用されるためには市民のアイデアを積極的に導入し、公共性を醸成するプロセスが必要と考えるが。

答 あらゆる分野の人で構成された三国駅検討協議会を立ち上げ意見を



山田 秀樹

交換を行ってきており、引き続き意見を参考に進めていきたい。

問 駐車サービスの在り方についてどう考え、どう運用するのか。

答 送迎乗降を兼ねた駐車スペースとし、周遊滞在時間増を考慮の上、有効活用については今後も検討を続ける。

問 駅の無料Wi-Fiが一部ユーザー利用に限定されている。

答 観光と産業の振興促進を図る上で、誰もが利用できる無料Wi-Fi環境が早急に必要では。令和2年度には整う予定である。



▲三国駅前の状況

犯罪や交通事故などの被害者支援は

問 市の犯罪被害者支援の取り組み内容は。

答 安全対策課を総合相談窓口とし、相談内容によって子ども、女性、高齢者など該当する業務の担当課に振り分け、市で対応できないものは、県や警察などの相談機関を紹介するなど、丁寧な対応と、できるだけの支援を行っている。

問 中学生を対象にした「命の大切さを学ぶ教室」の開催状況は。

答 全生徒を対象に3年ごとに実施する学校、学年ごとに毎年実施する学校と、方法は異なるが、中学校3年の在籍期間のうち1回は参加できるように、全ての中学校で開催している。

問 犯罪被害者支援自動販売機を庁舎に設置してはどうか。

答 市の施設では、福祉関係や災害協定などの自動販売機が設置されているが、今後、犯罪被害者支援自動販売機も検討していきたい。

問 古本を寄贈して被害者支援活動を応援する「ホンデリングプロジェクト」

「エクト」を、犯罪被害者週間の時に市民に呼び掛けてはどうか。

答 福井被害者支援センターでも活動費は十分でないという声があり、坂井警察署、坂井西警察署と連携した広報活動を行いながら、市民への周知を図っていきたい。

問 坂井市犯罪被害者等支援条例を制定してはどうか。

答 県内で犯罪被害者などの支援に特化した条例は越前市のみで県も未制定である。条例制定には県警との調整も必要であり、県がこれから制定していくその内容を精査した上で調査・検討していきたい。



前川 徹



▲ホンデリング啓発イラスト

新型コロナウイルスによる臨時休校の対応は

問 非常勤講師の対応は。

答 県の臨時職員などは通常通り勤務しており、市の非常勤職員の一部は児童クラブで勤務している。

問 学童保育で少人数での学力向上、振り返り学習ができないか、また給食の提供はできないか。

答 学童保育の目的は家庭の支援であるため少人数での学力向上対策や、補充学習支援という場ではなく、給食の提供は多くの課題があり難しい。

問 学校給食の休止による影響は。影響は小さいと考える。

答 臨時休校による共働き世帯、ひとり親世帯への影響は、国が支援策を公表しているが、市も検討を考えている。

問 マスクの備蓄数、防護服数は。防護服は50セットあるが、感染発生時は県が対応する。

答 マスクは2月に8千枚を購入した。

雄島海女の支援は

問 現在の海女の状況は。



▲雄島漁業協同組合梶支所の海女たち

問 北は北海道から鹿児島まで18道県に分布しており、県内では唯一約50人の雄島海女がいるが、担い手確保のため令和2年度から支援策制度を新たに創設し、海女の増加と文化継承を全面的に支援する。文化遺産、観光資源としての取り組みは。

答 平成29年に県無形民俗文化財に指定されており、今後も県ともに保護と継承に取り組み、雄島漁業協同組合の協力のもと、観光資源として一体的に紹介したい。



三宅小百合

中期財政計画とICT活用推進計画は

問 新型コロナウイルスが「中期財政計画」に与える影響は。

答 情勢次第では、税収の落ち込みなど、市の財政に対する影響は免れないと考える。

問 新型コロナウイルスによる本庁舎新築工事への影響は。

答 工期内完成を目指していくが、衛生設備や空調設備の一部商品の納期が未定である。

問 ICTに精通した若い世代のアイデア活用が重要と考えるが。

答 ICTを利用する機会が多い若い職員の柔軟な発想やアイデア、経験・知識を十分に取り入れていきたい。

問 ICTを活用し行政のさらなる見える化を図っては。

答 評価シートの見直しと新評価方法の確立など、市民に分かりやすい「見える化」に取り組みたい。

災害(水害)に強いまちづくりを

問 パイプライン工事後の用水から排水への機能変更に伴い、水門操作などは受け継がれているのか。

答 新江用水や高椋用水は平成31年



前田 嘉彦

3月末に施設の所有者である福井県と管理協定を締結しており、大雨時の排水対策としての水門操作・管理を受け継ぎ、地元関係者などと協力して対応している。

問 中山間地域や丸岡城周辺(一部堀を復元し活用)に調整池や遊水地を確保しては。

答 水害の未然防止や減災対策として雨水対策の費用対効果について調査・研究したい。



▲2017年台風21号一本田福所地係の冠水状況

生きがいのある高齢者対策を求める

問 高齢者が公共施設などを利用する際に割引制度があることは、高齢者の社会参加を促し、生きがいづくりに重要ではないか。

答 公共施設の割引引きについては、全庁的に協議する。

問 えちぜん鉄道、民間バス、JR鉄道、タクシーなどの交通への独自割引の実施を。

答 交通機関の割引引きについては、坂井市地域公共交通網形成計画を策定中であり、の中で検討したい。

問 障害認定をされていなくても、聞こえにくい人への補聴器購入の助成が必要では。

答 補聴器の使用で、高齢者の生活の質の向上にもつながるので、支援の在り方を検討する。

認知症対策の充実を

問 認知症は早期発見が重要である。認知症チェックをホームページ上で、本人や家族ができるように整備を。

答 現在、窓口などで「基本チェック



松本 朗

リスト」を使用し、疑いのある人には受診を促している。ホームページ上でも、やれることはやっていきたい。

河川改修と市としての水害対策を

問 磯部川の改修は春江地区のJR橋まで進んだが、さらなる上流改修に県は消極的である。市としての県への働きかけとともに、市としての対策は。

答 市や同盟会が毎年要望しており、引き続き強く求める。市としては、令和2年度見直すハザードマップを活用し、避難行動を求める。



▲上流の改修が望まれる磯部川

市議会クイズ?



市議会のこと もっと知ってみませんか?

Q1 本会議の司会の役割は誰がしますか?

- ①市長
- ②議会事務局長
- ③議長

Q2 市民が要望することを議員が紹介議員となり、市議会に提出する文書を何と言いますか?

- ①陳情書
- ②請願書
- ③要望書

Q3 市議会でグループで議論、調査する会議を何と言いますか?

- ①理事会
- ②本会議
- ③委員会

Q4 市議会で市政の決まりを作りますが、これを何と言うでしょうか?

- ①法律
- ②条例
- ③規則

Q5 市議会で議論した後、提案された議案はどうやって決めますか?

- ①市長が決める
- ②議長が決める
- ③議員の多数決で決める

★ 答えはこのページの下にあります

新型コロナウイルス感染 対策の支援充実を

問 市内のさまざまな業界、企業に影響が出ている。相談や国・県・市の支援が適切かつ迅速に行われる体制づくりを

答 子どもの医療費用は、子育て世代にとって負担が大きい。無償化することで経済状況に左右されることなく、全ての子どもたちが必要な医療を受けられ、病気の早期発見や治療が可能となる。健康やかに成長する子どもたちが坂井市に魅力を感じ、住み続けていけるように就職・結婚・出産・子育ての希望が叶う環境を充実させる。住みよさを実感でき、お互いを思いやり支え合うまちづくりを進める。

問 英国交流派遣事業の中止は無念であるが、学んできたことを生かし、思い出に残る事業を考え実行してほしい。

答 派遣に向けてがんばってきた生徒たちには何らかの形で報いたい。インターネットを使った日本語の紹介や、団員同士の対話を考えている。



▲英国派遣交流の様子

子ども医療費無償化 拡充に対する市長の思いは

問 令和2年10月より、医療費の無償化が18歳まで拡充される。子どもたちへの思いと市民へのメッセージを。

答 市商工会や観光協会などと連携を図り、実態の把握に努めている。国や県と連携して、柔軟かつ速やかに施策を展開できるように努める。



永井 純一

広域連合・一部事務組合議会報告

坂井地区広域連合

坂井市とあわら市で構成。介護保険、さかいクリーンセンター、代官山斎苑墓地に関する事業を行う。

- 令和2年2月：第66回定例会
 - 令和2年度一般会計予算 可決
 - 令和2年度代官山墓地特別会計予算 可決
- 他6件を可決

嶺北消防組合

坂井市とあわら市で構成。

- 令和元年12月：第3回臨時会
 - 令和元年度一般会計 補正予算 可決
 - 消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例について 可決
- 他3件を可決

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

坂井市・福井市・あわら市・永平寺町で構成。主に清掃センター、YONETSU-KANささおかの運営、電子計算組織(福井市を除く)の共同利用を行う。

- 令和元年11月：第176回定例会
 - 平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定について 認定
 - 令和元年度一般会計補正予算 可決
 - 監査委員の選任について 同意

越前三国競艇企業団

坂井市と越前市で構成。競艇事業の運営を行う。

- 令和元年12月：第4回臨時会
 - 令和2年度モーターボート競走事業会計予算 可決
 - 令和元年度モーターボート競走事業会計補正予算 可決
- 他2件を可決

五領川公共下水道事務組合

坂井市と永平寺町で構成。九頭竜川敷およびその周辺の区域に係る公共下水道の設置、修繕、その他の管理に関する事務を行う。

- 令和元年12月：第107回定例会
 - 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について 可決
 - 令和元年度五領川下水道事業会計補正予算 可決
- 他2件を可決

①：10 ②：20 ③：30 ④：40 ⑤：50

坂井市ならではの 移住定住戦略を

問 本市は2018年、2019年の転出超過であったが、2019年の転入者数および転出者数とその状況分析は。

答 転入者数は2,723人、転出者数が2,973人で250人の転出超過となっており、2018年から42人増加している。年齢階層別で見ると若者世代の首都圏や大阪方面への転出が増加しているほか、福井市の大型商業施設近辺などへの転出も増加している状況である。

問 新規事業の地方創生マッチング強化・移住生活支援事業の令和元年度実績はゼロである。

答 全国でも実績が少ない状況であり、国も要件の緩和を行うことになってきている。県が6月に開設する京都事務所をはじめ、東京・大阪・名古屋のUターンセンターと強力な連携体制を構築し、市内企業に県のマッチングサイトへの登録を促すように展開するのかが、

問 働きかけを進めていく。令和2年度から拡充される空き家等対策事業の対象者の県外在住者や新婚、子育て世代に対し、どのように取り組んでいくのか。

答 取得実績がない状況であり、空き家バンクや移住ナビの活用を含め、総合政策部と連携していく。

問 本市の住みよさランキング上位や子育てランキング全国10位を首都圏や中京、関西圏に発信し、移住定住戦略を進めるべきでは。

答 住みよさや子育てしやすい環境・自然環境など、本市の強みを全国に発信し移住定住につなげていきたい。



▲福井県Uターンセンター東京オフィスが入居する「認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター」



川端 精治

Topics

議会BCP(業務継続計画)防災訓練

市議会では1月14日、坂井市社会福祉協議会で、初めての取り組みとして、避難運営を仮想体験できる「避難所運営ゲーム(HUG)」を実施しました。避難者が安全で快適に過ごすための避難スペースや簡易トイレ、炊き出し場所の配置、また、子どもだけの場合やペットを連れて来た人、認知症の人や重度の知的障がいがある人の誘導をどうするかなどを学びました。議員自らが避難所で起こりうるさまざまな問題点を理解できたのは、大変意義がありました。



● 議会を傍聴してみませんか ●

★6月定例会会期日程(予定)

6月 5日(金)	13時～	本会議(行政報告・議案説明など)
15日(月)	13時～	本会議(一般質問)
18日(木)	13時～	産業建設常任委員会
19日(金)	13時～	教育民生常任委員会
22日(月)	13時～	総務常任委員会
26日(金)	13時～	本会議(委員長報告・採決など)

※ 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。



議会のホームページが充実しました。

ホームページから過去の議会だよりもご覧いただけます。

<http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/gikai/>



編集後記

新型コロナウイルスの突然の災害は、日本だけではなく、世界中を震撼させています。近年では、「災害は忘れないうちにやってくる」が当てはまります。であれば、なおさら「備えあれば憂いなし」であり、日頃の備えが大事です。「光陰矢のごとし」・・・この言葉が素直に感じられるこの2年間、チーム市議会広報編集委員会は、「市民の皆様にも読んでもらえる広報誌をつくる」この一心で編集に取り組んできました。

先進地への視察を通じ、見やすい誌面、表紙の市内高校生への作成依頼、表紙からTopicsへの誘導、代表質問、一般質問のQRコード設定、議会フイズ、ポスターの作成などを新たに実施しました。今後も、さらに改革を重ね、よりよい広報誌を目指したいと思っています。ご愛読ありがとうございます。

(東野)

※問い合わせや議会だよりに対するご意見がありましたら、左記の議会事務局連絡先までご連絡ください。

